



### 内科部長あいさつ



内科部長 赤津 晋太郎

#### ブラジル渡航記

今年は、南米大陸での初のオリンピックの開催があり、パラリンピックと併せて29日間にわたり、スポーツの感動に沸きました。当初は治安や財政・ジカ熱など不安が聞かれましたが、約6万5,000人ものボランティアの協力もあり、大変盛り上がった大会でした。

ブラジルは日本とは地球の真裏、異なることは多いです。ルセフ大統領をはじめ、汚職が蔓延しており、サンパウロなどでも予算不足となり、未完成の建



物が目につきます。遠くに行きづらいところではありますが、魅力的な面もたくさんあります。この機会にブラジルについて書いてみました。

過去数回訪れていますが、まず、南米に到着し町に出たら、横断歩道も車に注意を要します。止まってくれない可能性があり、自分で身を守る必要があります。待ち合わせでも、「1時59分までが1時」で、たいていは遅れて来ます。

地下鉄は移動に便利で、昼間は女の人や子供も見かけますが、夕方のある時を境に雰囲気も変わり、怪しい男の人だけになります。

乗り合いバスが市民の足として走っていますが、運転も荒く、事故や事件にも巻き込まれることが多く、使わないようにとのこと。また、タクシー乗り場かホテルのタクシーを使うように。地球の歩き方は有名ですが、危ない歩き方とのこと、運がよかっただけのことがたくさん書いてあると、南米の現地旅行会社の人は言います。

日本からの移民（ほとんどの人がマラリアなどの感染症に罹患し、多くの命が失われました）は、農業のための土地改良や品種改良などを含め多大な貢献をしております。そのおかげで、例えば宮崎産などの高級完熟マンゴーと変わらない

ような美味しさのもの（朝市など）を数百円で購入できます。日本以外では、このように品質が良くて美味しいものが揃っているところはありません。

また、アマゾン・パンタナールの大湿原・イグアスの滝などの大自然と明るく陽気な人・音楽など魅力的なことも多いです。最後まで奴隷制度（1888年まで）の残っていた国であり、アフリカ大陸以外では最もたくさんの方のアフリカ出身者がいます。最初の首都であるサルバドールでは今でも80%が黒人です。

サンバもサルバドールが発祥の地であり、多くのライブハウスで毎夜、深夜までライブが催されています。入り口には警官が立ち、人が出入りするたびに入り口に鍵をかけて、何かあればすぐ連れ出します。治安は一部では守られるようになっています。そして地域により様々な楽しい音楽にあふれています。MPB・バイア・ショーロ・ノルデスチなど、お勧めです。去年はモノプロコがアリオスにきたので家族で行ってきました。このような楽しい音楽を聞く力ができますね。聞いてみてください。



### 副看護部長あいさつ



副看護部長 兎玉 康乃

#### 33年間の時の流れ

呉羽会・呉羽総合病院に勤務して33年を迎えました。

先日、職場のアルバムを見る機会があり、以前のユニフォームスタイルの懐かしい仲間の写真を眺め思い出に浸りました。私が入社したころは看護師を看護婦、師長を婦長、看護部長を総婦長という名称で呼んでいました。今となっては懐かしい呼び名です。ユニフォームも以前は、スカート型の白衣に白ストッキングと白サンダル、ナースキャップでした。今ではなかなかお目にかかれない清楚なスタイルでした。ナースキャップは、独特な形を整えるための「糊」が院内感染の原因になるという理由で廃止されました。ワンピースも動きづらい理由

でパンツスタイルになりました。サンダルは、つま先が開いていて危険なので現在はスニーカーです。看護師のユニフォームも白であるべき理由もなく、今はカラフルな柄やパステルカラーもあり、当院の男性看護師は濃い色のユニフォームをスタイリッシュに着こなしています。看護師の名称と白衣の変化を書くにあたって久しぶりに33年間の時の流れを感じました。

私事です、壮年後期を思わせる動きの鈍さにやっと気づき、名称が直ぐに思い出せず「あれこれ」言う自分を嫌がらず「これでよいのだ」と、やっと愛でることが出来るようになりました。

## NST 活動紹介

栄養科技師長 平山 佐都子  
(管理栄養士・NST 専門療法士)

NST とは栄養サポートチームの事で、患者様の栄養管理の必要性・重要性を国が評価した医療診療の一環です。

当院は 2015 年 4 月より NST 準備室を設け加算算定に向け準備をして参りました。

2016 年 4 月に加算申請が受理されて本格的な呉羽総合病院 NST が発足、医師・看護師・薬剤師・臨床検査技師・放射線技師・ST・PT・OT・MSW・医事課スタッフ・医療クラークとすべての職種が関わっていく組織として始動致しました。

現在は外科チーム・内科チームで週 5 回(すべての病棟) NST カンファレンスを実施し

ております。

カンファレンスは看護師より患者様の現状報告、検査技師よりデータの推移、リハビリ科より現在のリハの進捗状況の報告 (ST なら嚥下機能の評価等々)、嚥下造影が必要と判断されればレントゲン技師へ造影日予約や栄養科へ造影食の予約などを実施していきます。

薬剤師は輸液の状況や食欲に影響がある薬剤の有無等々の情報提供、管理栄養士より喫食状況や栄養補助食材の提案、MSW は現在の患者様の希望や家族からの退院後の要望等を伝え、最終的に医師がこれらを総括し今後の栄養管理方針を決定していきます。

適正栄養管理は医療安全の確立、感染、褥瘡対策、周術期合併症の減少、リハビリテー

ションの効率化、在院日数の短縮化や医療費削減などに繋がる大切な分野であるため、呉羽総合病院 NST は各専門職が知識・技術を結集し日々患者様のサポートに努めております。



NSTカンファレンスの様子

## メディカルサロン・すまいるのご案内

がんと診断された方、治療を受けられている方、そのご家族様、また、がん以外の慢性疾患でお悩みの方など、どなたでも自由に参加できます。  
診療日の毎週火曜日 14:00 ~ 16:00 に開催しておりますので、是非ご参加下さい。

### ミニ学習会のお知らせ

- 11 月 15 日 (火) 14:00 ~ 緑川院長によるミニ学習会
- 1 月 17 日 (火) 14:00 ~ 緑川院長によるミニ学習会
- 3 月 7 日 (火) 14:00 ~ 管理栄養士によるミニ学習会
- 3 月 21 日 (火) 14:00 ~ 緑川院長によるミニ学習会



緑川院長の学習会の様子



右から福島県立医科大学の高瀬教授、三浦先生

### 福島県立医科大学主催 「がん治療後のサバイバーの学習&交流の場」 in メディカルサロン・すまいるのお知らせ

- 12 月 13 日 (火) 14:00 ~
- 2 月 14 日 (火) 14:00 ~

お問い合わせ 地域連携支援室  
TEL: 0246 - 62 - 3178

## 合同研修会および連携のつどい

### 「第 12 回いわき南部地区在宅医療・介護多職種連携のつどいおよび合同研修会」の報告



講演の様子

平成 28 年 5 月 19 日 (木)、勿来温泉関の湯にいわき南部地区の多職種総勢 152 人が集まりました。「地域包括ケアシステムの推進に向けて医療機関が出来ること」と題して当院院長・

緑川医師の講演、「地域包括ケアシステムの構築に向けて各専門職が出来ること」と題して、リレートークが行われ、活発な意見の交換と情報の共有が行われました。



合同研修会での集合写真

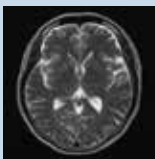

### 「第 13 回いわき南部地区在宅医療・介護多職種連携のつどいおよび合同研修会」のお知らせ

日時: 11 月 17 日 (木) 18:30 ~  
場所: ガーデニア・イベントホール  
内容: 講演「治療・ケアのゴールを話し合う」  
詳しくは、下記へお問い合わせ下さい。

地域連携支援室  
TEL: 0246 - 62 - 3178

## MRI と CT の違い

当院では高額医療器（CT・MRI）を所有しており、近隣の開業医、クリニック様にご利用していただくことを推進しております。そこで、CT・MRIは何が違うのか、各装置どんな所見に向いているのかをまとめてみました。

装置名	MRI	CT
画像例		
特徴	磁気共鳴現象を用いたもので物質によって異なる共鳴周波数の違いを画像にする	X線を用いて多方面からの情報をコンピューターにて処理し画像にする
音や痛み	大きな音がする・痛みなし	小さな音・痛みなし
撮像範囲	使用するコイルに依存（広範囲ではない）	部分～全身可（広範囲）
撮影時間	長い（20～40分）	短い（準備時間含めおよそ10分）
メリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>・任意の断面で撮像可能</li> <li>・血管は造影剤がなくても撮像可能</li> <li>・画像は水分があるところであれば描出可能であるため、椎間板、腫瘍、靭帯の描出に優れている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レントゲン写真では発見できない小さな所見を特定できる</li> <li>・肺・骨に有利</li> <li>・撮像時間が短い・撮像範囲が広い特性のため急性期の疾患の鑑別に有用</li> </ul>
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペースメーカー、絶対禁忌体内インプラントがあるため検査受診に制限あり</li> <li>・動きに弱い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・被ばく</li> <li>・組織間コントラストが悪いため、造影剤を使用しないとはっきりした画像にならない</li> </ul>
感度が良い所見・部位	<ul style="list-style-type: none"> <li>・頭部疾患</li> <li>脳梗塞（発症後 8 時間未満の超急性期にも感度が良好）、脳動脈瘤、腫瘍</li> <li>・内臓疾患（特に胆嚢・胆管）</li> <li>・整形領域疾患</li> <li>椎体疾患（椎間板ヘルニア）、靭帯・半月板</li> <li>・腫瘍性病変</li> <li>ガングリオン、軟部腫瘍、脂肪腫、他</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急性の頭部疾患</li> <li>硬膜下血腫・硬膜外血腫・くも膜下出血・出血</li> <li>・肺疾患</li> <li>肺炎・結核・肺気腫</li> <li>・腹部疾患</li> <li>エコー時臓器等の描出が不良の際の確認・内臓出血・動脈瘤・イレウス・穿孔等</li> <li>・骨疾患（骨折）</li> </ul>

当院でのご利用希望の際は、当院放射線科までご一報ください。予約方法、手順等は直接お伺いし、ご説明させていただきます。

お問い合わせ 呉羽総合病院 放射線科  
TEL: 0246 - 63 - 2181

## 新任医師紹介



麻酔科部長  
齋藤 祐司

10月より呉羽総合病院に着任致しました齋藤です。私が呉羽総合病院に麻酔科を創設させていただいたことになりましたが、当然、責任を痛感しております。業務は大変ではありますが、麻酔科診療は周囲とのチームワークが良ければ、実は楽しいものです。幸い当院では協力的なスタッフが多いため、快適に麻酔科診療を行うことができている。5年前の震災の傷跡も少し残っているであろうこの地で、働きやすい環境で麻酔科診療を行うことができ、大変嬉しく思います。今後、手術の際の麻酔管理のみならず、緩和医療も学びながら、この地域の医療に貢献する所存です。

ひさかたの 秋の日差しに 彼岸花 散れども朱き 秋桜の咲く  
秋の日に 情けは他人（ひと）の 為ならず  
われの為にも 助けよ患者（ひと）を



整形外科  
高林 直也

初めまして。呉羽総合病院整形外科の高林直也と申します。本年の7月1日から前任の原田先生に代わり、呉羽総合病院の整形外科に着任し、診療に携わっております。福島県のいわき市は、特に高齢者のロコモティブシンドロームでADLやQOLの低下を招いている患者様を多く見受けられます。外来診療だけでなく骨折外傷や膝、脊椎を中心とした慢性疾患における手術診療を積極的に取り組みたいと考えております。地域医療に貢献できるよう、精一杯頑張りますので、どうぞ宜しくお願いします。



## ♪インフォメーション♪

### 健康管理センターよりお知らせ



知ってる？

認知症予防に役立つ  
血液検査があるらしいよ！

### 認知症予防 ー最近「物忘れ」が気になる方へー

認知症予防のために⇒ MCI スクリーニング検査のすすめ

#### 《5人に1人が認知症になる？》

2025年、65歳以上の高齢者のうち認知症の人は、約700万人（5人に1人）に増加すると予測されます。

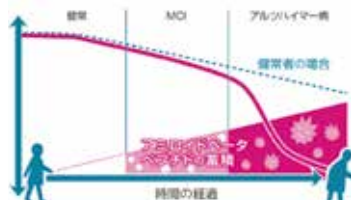
※認知症、大切なのは発症後の治療ではなく、発症前の予防です。

65歳以上の5人に1人は、認知症



#### 《軽度認知障害（MCI）とは？》

アルツハイマー病発症までの経緯



健常者と認知症の中間の段階を指します。日常生活に支障はありませんが、そのまま経過すると約5年でその半数以上が認知症に進行すると言われています。最近の研究では、MCIの段階で適切な予防や治療を行えば、認知症の発症を防ぐことや、遅らせることができますと分かっています。

#### 《MCIを早期発見する検査って？》

アルツハイマー病はアミロイドベータペプチドという老廃物が脳に蓄積し、神経細胞を破壊することで発症します。「MCIスクリーニング検査」は、アルツハイマー病の前段階であるMCIのリスクを測る血液検査です。



#### 《MCI検査》 検査は採血のみ

#### 《認知症の予防》 認知症は生活習慣病のひとつです。

こんなことが気になる方におすすめです！

- 最近、物忘れが増えてきた…
- 肥満や糖尿病など生活習慣病の恐れがある…
- 親や家族の様子が少し変わった気がする…

【予防法】

#### 《検査結果》 約2～3週間後

【判定結果はリスクに応じてA～Dの4段階】

- A：健常です。
- B：軽度認知障害（MCI）のリスクは低めです。
- C：軽度認知障害（MCI）のリスクは中程度です。
- D：軽度認知障害（MCI）のリスクは高めです。



おすすめは  
有酸素運動



バランスの良い食事



楽しめる趣味を持つ



昼間働いた脳を  
夜にしっかりと休める

#### 大切なのは生活習慣病の予防

肥満や糖尿病などの生活習慣病は  
認知症のリスクを高めます。

※近日中に検査受付を開始致します。

お問い合わせ 呉羽総合病院 健康管理センター  
TEL：0246 - 62 - 3075

### 医事課よりお知らせ

#### クレジットカードでのお支払いについて

当院ではクレジットカードによるお支払いを実施しております。

#### ご利用可能なクレジットカード

VISA (ビザ)、Master (マスター)、JCB (ジェーシービー)、American Express (アメックス)、Diners Club (ダイナースクラブ)

※預り金に関してクレジットカードでのお支払いは出来ません。

※お支払いは一括のみでの取り扱いです。分割ご希望の患者様はお支払い後、直接各クレジット会社にお問い合わせ下さい。

※取り扱い時間 8：30～17：00

土曜日午後・休日の利用は入院費と診断書料金のみとなります。



### 病院よりお知らせ

12/1 (木) 当院で呉羽祭を開催いたします。緑川院長の講話を予定しております。

詳しくは、お問い合わせ下さい。

お問い合わせ 地域連携支援室  
TEL：0246 - 62 - 3178

#### 地域連携支援室

- TEL. 0246-63-2181 【代表】 内線 3130
- TEL. 0246-62-3178 【直通】
- FAX. 0246-62-2035
- E-mail t-takagi@kureha-hosp.com
- <http://www.kureha-hosp.com/>

■発行 社団医療法人呉羽会 呉羽総合病院  
〒974-8232 いわき市錦町落合1-1  
TEL. 0246-63-2181  
FAX. 0246-63-0552  
URL <http://www.kureha-hosp.com/>  
発行人 田中 稔  
編集 地域連携支援室